



ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

改めて考える LGBTQ+

女性同士の親密な関係からみる歴史とその背景

追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪市中央区、理事長：田口順一)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。



2021.09.02 地域・観光
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌
56020Views
OTEMON VIEW編集部



2022.10.07 社会と暮らし
男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点
32914Views
OTEMON VIEW編集部



2021.03.05 社会と暮らし
「半沢直樹」になれない現代人へ。「感情資本」は社会を生き抜くヒント。感情のコントロールとは。
31705Views
OTEMON VIEW編集部



2020.08.24 こころからだ
すぐそばにある薬害問題。「薬害根絶デー」に考える薬害被害について
21731Views
OTEMON VIEW編集部

OTEMON VIEW 人気記事ランキング

ニュースを教育・研究の視点から

LGBTQ+の人権について関心が高まるたびに、さまざまな議論が巻き起こる一方で、私たちはどれほどその歴史や背景について知っているのでしょうか？今回はLGBTQ+の中でも「L：レズビアン」にかかわりがある女性同士の親密な関係に焦点をあて、社会学から研究を進めている社会学部の赤枝香奈子教授と、日本におけるLGBTQ+の歴史と日本社会のとらえ方の変遷を客観的に紐解きます。

(以下は主なポイント)

理解を深めるには変遷を知るべし

○プライド月間には由来と歴史がある

近代以前:今でいう「同性愛」は特別な話題ではなかった？

○昔の日本では男色／女色が並び話されていた

明治～大正:同性愛は異常？性科学の輸入がもたらした影響

○女性同士の親密な関係に対する横暴なカテゴライズ

昭和:同性愛への偏見、当事者たちの働きかけ

○1950年代、アメリカ「キンゼイ報告」がもたらした衝撃

平成:偏見との闘い。可視化され始めた当事者たちの苦しみ

○1980～1990年代、差別解消に向け団結・行動するLGBTQ+当事者たち

○2010年代、今に続くLGBTQ+ムーブメント

令和:真の多様性とは何か？

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/2910/>



赤枝香奈子 教授(社会学部) 専門:社会学、ジェンダー・セクシュアリティ研究

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課

TEL：072-641-9590 谷ノ内・仲西